

ヤングケアラー支援の取組状況について

1 令和5年度上半期の取組状況

(1) ヤングケアラー専門相談窓口の状況

- ・ 名称 北海道ヤングケアラー相談サポートセンター
- ・ 開設場所 江別市東野幌本町7-5（セリオのっぼろ店内テナント）
- ・ 開設時間 月曜日～金曜日 8:45～17:30
- ・ R5.4.1～R5.8.31 までの相談実績 20件（来所1、電話16、HP問合せフォーム3）



外 観

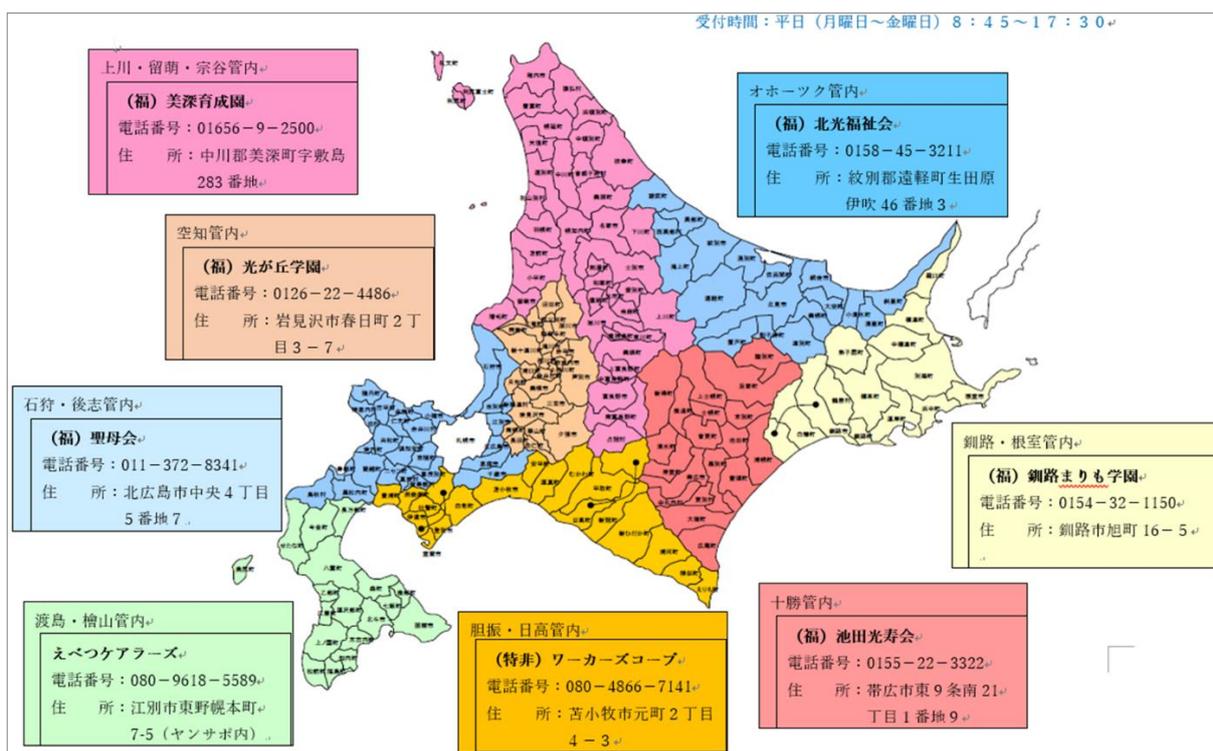


内 観

(2) ヤングケアラーコーディネーターの状況

- ・ 道内8地域に配置
- ・ R5.4.1～R5.8.31 までの対応実績 93件

【令和5年度ヤングケアラーコーディネーター配置一覧】



(3) ヤングケアラーに関する子どもからの意見聴取

① 趣旨

ヤングケアラーへの理解を深めることを目的とした児童生徒向け電子ハンドブックを作成するにあたり、道内の中高生からアイデア募集を行い、子どもの意見を取り入れた内容とするため、R5. 8. 1 にオンラインでワークショップを開催。



② 子どもの意見（ヤングケアラー支援のアイデア・主なもの） ※詳細は別紙のとおり

- ・ 行政のバックアップのもと、ヤングケアラー支援のボランティア団体を立ち上げ、料理や買い物などをサポートして負担軽減を図る
- ・ お弁当（若しくは調理キット）の料理宅配サービスを提供する
- ・ ボランティアで勉強を教える場を充実させて、ヤングケアラーに限らず様々な子どもたちが利用できるようにする
- ・ ヤングケアラー当事者が学校に行っている時間には、ケアしている家族へのサポートが提供される制度づくり
- ・ 道徳の授業などで、小学生の頃からヤングケアラーという社会課題を知る授業を行う
- ・ 疲れている様子の子を見かけたら、話しかけて話に耳を傾けるようにしたい
- ・ 生徒会を中心に署名活動を行い、ヤングケアラーに関する授業がされるように活動してみる

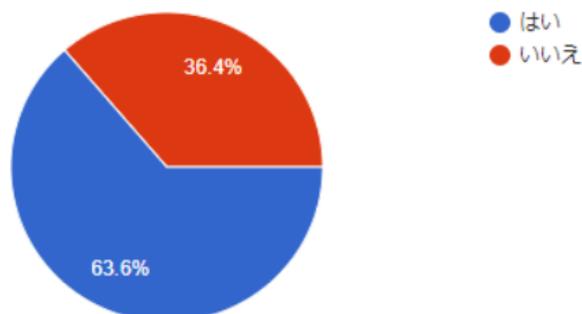
③ 子どもの意見（ヤングケアラー相談窓口周知用カード）について



昨年度、当課が作成したヤングケアラー相談窓口周知用カードについて、ワークショップの参加者にアンケート調査を実施した。

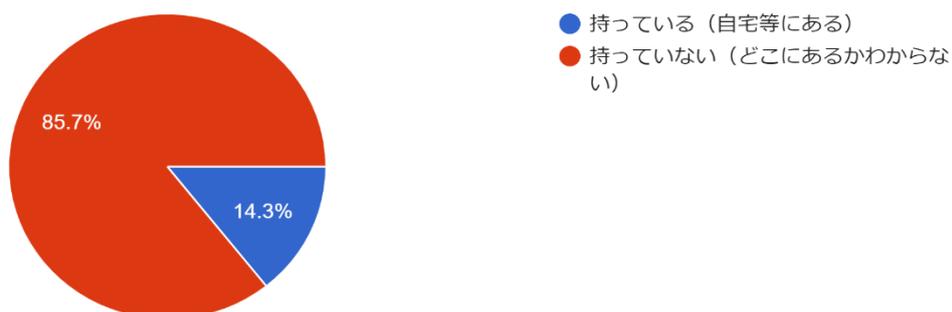
問1. 昨年12月頃にこのカードを道内全ての小中高生に配布していますが、受け取ったことを覚えていますか。

11件の回答



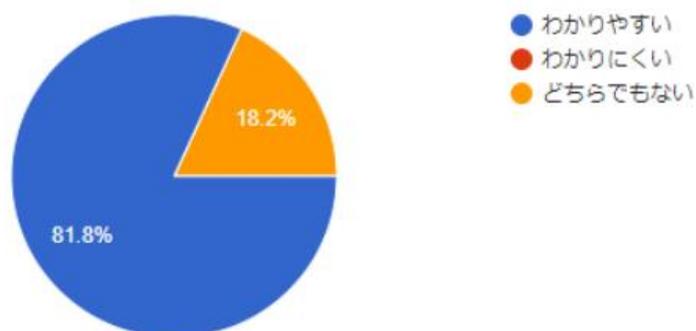
問2. 問1で「はい」と回答した方にお聞きします。現在も、このカードを持っていますか。

7件の回答



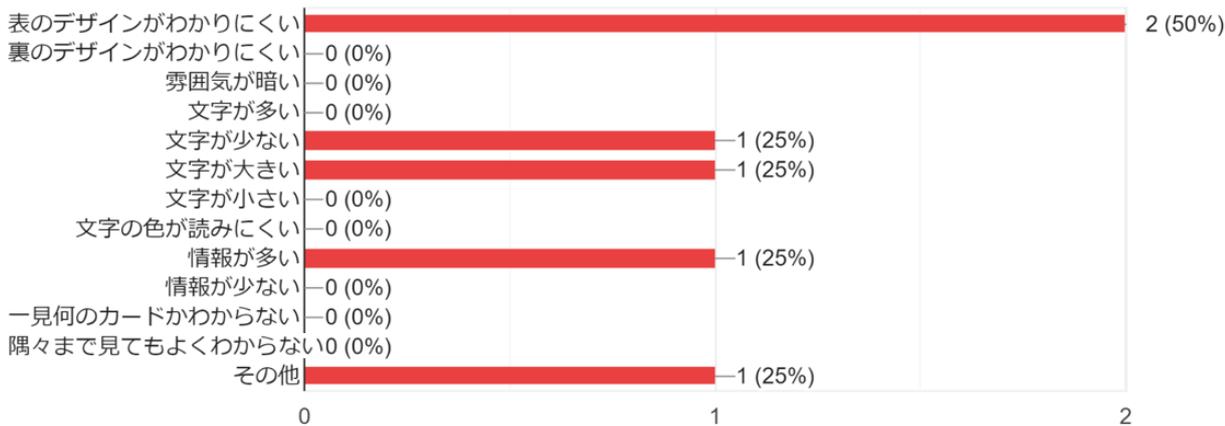
問3. このカードは、ヤングケアラーの方を対象に、相談先の案内をしたものですが、分かりやすいデザインになっていたと思いますか。

11件の回答



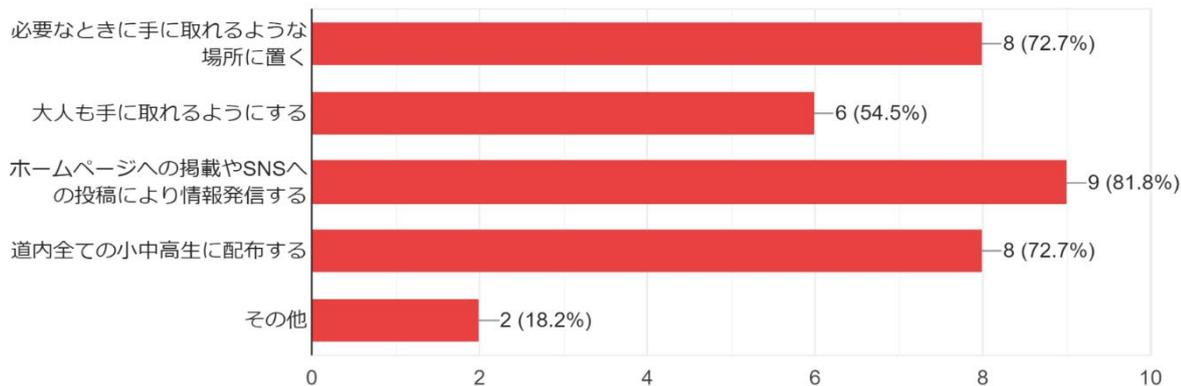
問4. 問3で「わかりにくい」または「どちらでもない」と回答した方にお聞きします。どのような点がわかりにくいと感じましたか。（複数選択可）

4件の回答



問6. ヤングケアラーと思われる方にカードを活用してもらうためには、どのような工夫が必要だと思いますか。（複数選択可）

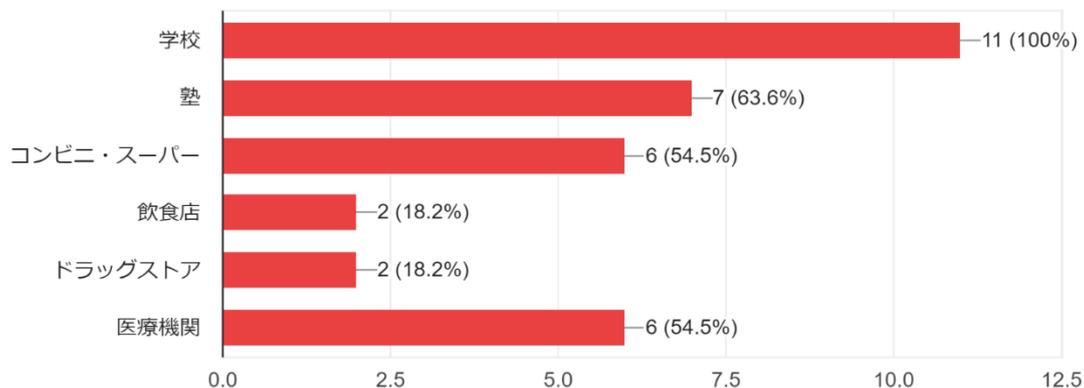
11件の回答



※ 問5・問7 その他の場合の内容 回答なし

問8. カードがどこに置いてあると小中高生に知ってもらえると思いますか。（複数選択可）

11件の回答



問9. 今後カードを作りなおすとしたら、小中高生により手に取って見てもらえるためにはどのようなデザインや内容にしたら良いと思いますか。

(主な回答)

- ・ヤングケアラーという言葉をもっと大きくしてもらいたい
- ・もっとかわいくした方が良い。 ・もう少しマスコットができればいいなと思いました
- ・もっとポップな感じ。漫画みたいな
- ・イラストなどを興味の湧くものにする（アニメキャラ的なものなど）
- ・目立ちやすいようポスターなどを学校や医療機関に掲載
- ・誰でも一度は読み込んでみたくなるような仕掛けを作る ・目立つ色を使うと良い
- ・ヤングケアラーについて少しだけ説明する欄を作る

(4) 教育庁との連携

教育庁主催のヤングケアラー支援に係る連絡協議会（4ブロック）に出席し、北海道ケアラー支援推進計画や当課の今年度の取り組み予定等を説明。その後、参加者が各地域の実情に応じたヤングケアラー支援体制の構築に向けて方向性を検討。

【各ブロックの開催日】

- ・道南 7/25（火）、道北 8/2（水）、道東 8/3（木）、道央 8/4（金）

【参加者】

各管内小・中・高校等校長会、市町村教育委員会、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、児童相談所、ヤングケアラーコーディネーター、市町村 等

2 令和5年度下半期の取組（予定）について

(1) 児童生徒向け電子ハンドブックの作成・周知

1（3）②における中高生の意見を取り入れ、ヤングケアラーへの理解を深めることを目的とした児童生徒向け電子ハンドブックを作成し、周知する。

- 教育庁等と協力して各学校への周知を図るとともに、来年度以降の授業において電子ハンドブックを活用していただくよう働きかけを行う。
- SNS等を活用し、電子ハンドブックを周知。

(2) ヤングケアラー相談窓口周知用カードの作成、配付

1（3）③における中高生の意見を取り入れ、周知用カードをリニューアルする。

- イラストの変更、文言を工夫。

(3) ヤングケアラーカフェの開催

ヤングケアラーがより気軽に相談に訪れ打ち解けて話すことができるよう、ファーストフード店において、当事者（高校生）が飲食しながら悩みや経験を共有できる交流の場を開催

- 苫小牧市内において試行的に実施